

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成22年1月21日

上場会社名 ゴメス・コンサルティング株式会社

上場取引所 大

コード番号 3813 URL <http://www.gomez.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 執行役員CEO兼COO (氏名) 森澤 正人

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO 管理部長 (氏名) 五関 智紀

TEL 03-6229-0581

四半期報告書提出予定日 平成22年2月4日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年3月期第3四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	282	△6.4	2	—	19	—	17	—
21年3月期第3四半期	301	—	△41	—	△35	—	△21	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	1,173.65	1,171.09
21年3月期第3四半期	△1,479.71	—

(注)前第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	1,504	1,459	97.0	99,525.29
21年3月期	1,495	1,442	96.5	98,351.64

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 1,459百万円 21年3月期 1,442百万円

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

なお、当社の配当基準日は第2四半期末日及び期末日ではありますが、現時点では期末日における配当予想額は未定であります。(「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」欄参照)

### 3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	370	△8.5	10	—	25	—	20	—	1,363.61

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 14,667株 21年3月期 14,667株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 一株 21年3月期 一株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 22年3月期第3四半期 14,667株 21年3月期第3四半期 14,667株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 期末日における配当予想額は現時点で未定であり、今後の業績等を総合的に勘案し見通しが立った時点で開示いたします。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期(9か月)の国内経済は、雇用調整が続くなど先行き不透明な状況が続いておりますが海外経済の持ち直しや在庫調整の進展等により一部回復の兆しが見られる状況となりました。

このような中、当社は景況感の回復が見られ始めた金融機関に対し積極的に提案を強化し、証券、銀行、保険、クレジット業界からの受注を獲得しました。またコンサルティング、制作業務を主軸としながらも顧客の幅広いニーズにこたえるため各種のツール紹介業務を行い顧客との接点の増加に努めました。

以上の結果、当第3四半期(9か月)の売上高は、282百万円(前年同四半期比6.4%減)となりました。損益の状況については、オフィス面積の縮小や人件費の圧縮による経費減と売上高の回復により、営業利益2百万円(前年同四半期は営業損失41百万円)、経常利益19百万円(前年同四半期は経常損失35百万円)、四半期純利益17百万円(前年同四半期は四半期純損失21百万円)となりました。

### 2. 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は1,504百万円となり、前事業年度末比9百万円の増加となりました。その要因は、現金及び預金の増加によるものです。

また、当第3四半期末の純資産は1,459百万円となり、前事業年度末比17百万円の増加となりました。当第3四半期累計の利益によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期末における現金及び現金同等物の残高は374百万円となり、前事業年度末比24百万円の増加となりました。有価証券等の利息収入11百万円とオフィスの賃借面積縮小による敷金の返還収入6百万円によるものです。

### 3. 業績予想に関する定性的情報

平成21年4月22日に公表いたしました通期業績予想の修正は行っておりません。

### 4. その他

#### (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### 1. 簡便な会計処理

該当事項はありません。

##### 2. 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

#### (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

##### 完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更

ウェブサイト制作に係る収益の計上基準については、従来、完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」

(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)を第1四半期会計期間より適用し、第1四半期会計期間に着手したプロジェクトから、当第3四半期会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められるプロジェクトについては工事進行基準(工事の進捗率の見積りは原価比例法)を、その他のプロジェクトについては工事完成基準を適用しております。

この変更による当第3四半期累計期間の損益に与える影響はありません。

5. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	374,270	350,012
売掛金	86,597	99,753
有価証券	1,000,000	1,000,000
前払費用	10,324	6,427
その他	9,579	5,707
流動資産合計	1,480,771	1,461,901
固定資産		
有形固定資産	872	2,762
無形固定資産	586	413
投資その他の資産	22,209	29,120
固定資産合計	23,668	32,296
繰延資産	—	1,117
資産合計	1,504,440	1,495,315
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	14,462	23,485
未払金	26,834	26,653
未払消費税等	2,841	—
前受収益	564	2,003
預り金	—	648
流動負債合計	44,702	52,792
負債合計	44,702	52,792
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	613,667	613,667
資本剰余金		
資本準備金	458,902	458,902
資本剰余金合計	458,902	458,902
利益剰余金		
利益準備金	240	240
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	386,927	369,713
利益剰余金合計	387,167	369,953
株主資本合計	1,459,737	1,442,523
純資産合計	1,459,737	1,442,523
負債純資産合計	1,504,440	1,495,315

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	301,822	282,449
売上原価	228,668	195,321
売上総利益	73,154	87,128
販売費及び一般管理費	115,082	84,200
営業利益又は営業損失(△)	△41,928	2,927
営業外収益		
受取利息	1,165	75
有価証券利息	7,766	17,328
営業外収益合計	8,932	17,404
営業外費用		
株式交付費償却	2,471	1,117
営業外費用合計	2,471	1,117
経常利益又は経常損失(△)	△35,468	19,214
特別利益		
投資有価証券売却益	17,500	—
特別利益合計	17,500	—
特別損失		
固定資産除却損	—	1,288
特別損失合計	—	1,288
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△17,968	17,926
法人税、住民税及び事業税	712	712
法人税等調整額	3,022	—
法人税等合計	3,734	712
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△21,702	17,213

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△17,968	17,926
減価償却費	1,574	807
株式交付費償却	2,471	1,117
受取利息及び受取配当金	△8,932	△17,404
投資有価証券売却損益 (△は益)	△17,500	—
固定資産除却損	—	1,288
売上債権の増減額 (△は増加)	△7,074	13,156
仕入債務の増減額 (△は減少)	△6,106	△9,023
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	871	△4,960
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△1,766	4,418
小計	△54,430	7,325
利息及び配当金の受取額	6,411	11,543
法人税等の支払額	△12,589	△1,143
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△60,608</b>	<b>17,725</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
無形固定資産の取得による支出	—	△379
投資有価証券の売却による収入	67,500	—
差入保証金の回収による収入	—	6,911
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>67,500</b>	<b>6,531</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△17,600	—
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△17,600</b>	<b>—</b>
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△10,708	24,257
現金及び現金同等物の期首残高	883,503	350,012
現金及び現金同等物の四半期末残高	872,794	374,270

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。